



「KOMABA DAY」は月に一度実施している日で、世界で起こっている様々な問題に子どもたちが触れる機会を作っています。また、同日は募金箱も設置します。集まった募金は災害などの緊急支援や KOMABA の開校以来、その活動を応援し続けているトータルペインター・ミヤザキ ケンスケさんのプロジェクト OVET THE WALL に役立てられます。なお楽しみながらの活動を目指しているため、「KOMABA DAY」では講師は私服で授業をし、生徒は授業中の飲食を可としています。

デング熱シンガポール史上過去最多

デング熱の感染、今年に入って2万2000人余り

【2020年8月5日】



シンガポールでは、ことし4月ごろから、蚊が媒介するデング熱の感染が例年を上回るペースで報告されています。

先週1週間に1380人の感染が確認されるなど、このところ8週連続で感染者が1000人を超えていて、累計の感染者は4日までに2万2403人となりました。これは年間の感染者数として、これまでで最も多いということで、このうち19人が死亡しています。

国家環境庁は、感染増加の背景として、新型コロナウイルスの感染拡大で自宅などにとどまる人が増え、蚊に刺される機会が増えたとみられることや、労働者のいなくなった工事現場に水たまりが残っていることなどを指摘しています。また、6月の降水量が過去10年で最多だったことも、例年より蚊が増える要因になっています。

専門家は、新型コロナウイルスとデング熱は、ともに発熱の症状があり、見分けるために2種類の検査が必要になることから、医療現場がひっ迫するおそれも指摘しています。国家環境庁は、この先10月ごろまで感染拡大が続くとしていて、殺虫剤や虫よけの使用、長袖、長ズボンの着用といった警戒を呼びかけています。



デング熱の発生状況はスマホのアプリでも常に確認できる



デング熱のクラスターが発生している地域では、感染予防を呼びかける横断幕が目につく

シンガポールに住んでいる限りいつかは感染するのだろうか、と思っていましたが・・・ついに私も感染してしまいました、デング熱。しかも貴重な1週間の夏休みの初日に発症。ネットイシマカさんは、潜伏期間も上手に計算して刺してくれたものです。おかげでその休み期間はずっと39.0~40.0の熱が出っぱなし。身体を動かそうにもあまりのだるさに動かせない。飯ものを通らない。夜中に眠れない・・・。熱は1週間ちよつとで下がり、めでたく夏期講習会の後半からは教室に戻れたのですが、常に身体が疲れている状態というか倦怠感に包まれており、それが更に10日ぐらい続きました。デング熱、もう二度となりたくないです。どうか皆さんも「ダイジョーブでしょ」と軽い気持ちで感染予防を怠らないよう、十分にご注意ください！ (石川)